

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 三重県名張市立蔵持小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒518-0752
三重県名張市蔵持町原出338番地

E-mail g01_kura@nabari-mie.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 102名 女子 95名 合計 197名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

1. 研究主題

「自ら課題を見つけ、仲間とともに解決する子どもの育成
～学びに火をつけるESDの視点に立った授業～」

2. 研究の概要

本校は、平成24年にユネスコスクールに認定され、ESDの視点を取り入れた学習活動を展開してきた。ESDの概念を取り入れることは、本校の子どもたちの課題である、「批判的に考える力」「未来を予測して計画を立てる力」などの、問題解決に必要な様々な能力・態度を身につけることにつながる。

また、これらの能力・態度を身につけさせるためには、子どもたちが「調べてみたい」「やってみよう」と思うような課題を設定すること(仮説1)や、課題に対して工夫して追究し続けること(仮説2)が大事である。

本校では、この2つの仮説に基づいて、今年度研究を進めてきた。研究を推進するに当たって、子どもたちが、自分との関連が深く、興味・関心をもって、自分たちで学習を深め、行動化に移しやすい題材ということで、「地域に根ざした学習」を取り入れることにした。

3. 研究の内容

【仮説1を検証するために大事にしたこと】

- ◆地域に根ざした教材開発 ◆人やものとの出会い
- ◆課題設定 ◆達成感・有用感をもたせる



【仮説2を検証するために大事にしたこと】

- ◆学習ゴールの明確化 ◆人やものとの出会い
- ◆学びの足あと、成果の可視化



4. 各学年の実践例

1年生

【単元名】

「わくわくあそびたんでい！」

【内容の概要】

子どもたちにとって生活の一部である遊びに着目し、「身近な人から今まで知らなかった遊びを教えてもらったり、知っていた遊びの遊び方を見直したりすることで、遊びについて新たな発見をする楽しさを味わう。

3年生

【単元名】

「くらもちのたからものを伝えよう」

【内容の概要】

校歌の3番の歌詞から子どもたちはたくさん疑問をもち、その疑問を解決するために、地域に出かけたり、地域の方に出会ったりすることを通して、一人一人が、自分にとっての「くらもちのたからもの」を見つけ出す。

5年生

【単元名】

「百年後の蔵持を守る
～米作りを通して～

【内容の概要】

米作り体験(田植え、観察、案山子づくり、稲刈り)を通し、米をより身近なものにする。また、海外の交流校の農業の状況との比較をすることにより、自分たちの住む国の食料生産の現状を実感する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）